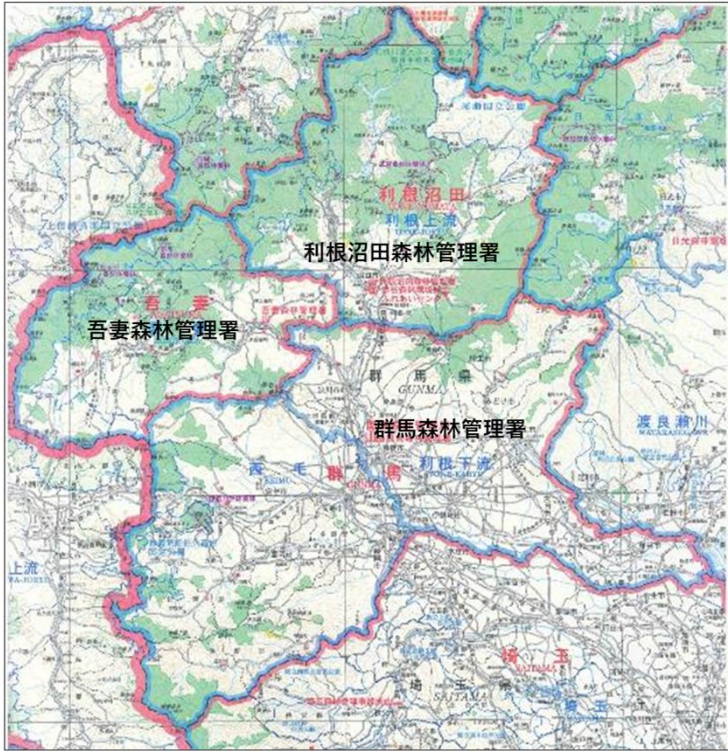


概要



群馬県の面積(64万ha)のうち約3分の2が森林(43万ha)で覆われ、その半分に相当する約20万haの国有林野を3つの森林管理署(群馬、吾妻、利根沼田)で管理しています。

国有林野の多くが地形の急峻な奥地の山々や河川の源流域に分布していることから、大部分を保安林に指定し、水源を守り土砂災害を防ぐなど「首都圏の緑の水がめ」として公益的機能の発揮を重視した管理経営に努めています。

また、貴重な自然環境や美しい景観の維持のため、国有林の約3割(5.5万ha)が国立公園等に指定されており、保健休養・レクリエーションの場としても多くの皆様に利用されています。

群馬3署での重点取組(トピックス)

▶ 森林・林業施策全体の推進への貢献

1. 「施業効率化」を目指した取組の推進

- ✓ 群馬県猟友会と連携したシカ捕獲(3森林管理署共通)
- ✓ 新たな技術による効率的な森林施業の展開(吾妻森林管理署)
- ✓ ぐんまフォレスター連絡会を通じた普及・啓発(3森林管理署共通)
～デジタル技術のフル活用で林業イノベーション(群馬森林管理署)～

2. 木材の安定供給

- ✓ 国有林材の計画的・安定的な供給(3森林管理署共通)

▶ 公益的機能の一層の発揮

3. 森林生態系の保護・管理

- ✓ ナラ枯れ対策(利根沼田森林管理署)

▶ 国民の森林としての管理経営

4. 国民参加の森林づくりの推進

- ✓ 地域と連携した自然休養林での植生保全活動(吾妻森林管理署)
- ✓ 企業・団体等による森づくり(3森林管理署共通)

1. 「施業効率化」を目指した取組の推進

シカ被害対策

○群馬県猟友会と連携したシカ捕獲

(3森林管理署共通)

深刻なシカによる植栽木の食害対策として、群馬県猟友会と県内3森林管理署が協定を締結し、より広範囲の国有林野において捕獲に取り組んでいます。

また、国有林野職員自らによる捕獲等も行っており、国有林野職員が考案した簡易で効率的なくくりわなによる捕獲法（小林式誘引捕獲※）に積極的に取り組んでいます。

令和8年度においても、これら多様な方法による捕獲を進め、シカによる森林被害の防止を強化します（3署の捕獲頭数 R4年度：1,687頭 R5年度：1,304頭 R6年度：1,732頭 R7年度は集計中）

※小林式誘引捕獲：職員が開発した改良型わな。くくりわなの周囲に石やシカを誘引するための餌をドーナツ状に設置し、前足がわなにかかりやすくする工夫を施したもの（2023年3月人事院総裁賞受賞）



職員によるシカの捕獲（渋川市）



小林式くくりわな設置状況（イメージ）

省力・低コスト林業の取組

○効率的な森林施業の展開

(3森林管理署共通)

木材の伐採・搬出に使用する林業機械をその後の地拵・苗木運搬等に活用し、一連の作業として実施することで、省力化・効率化を進めていきます（一貫作業システム）。

また、低密度植栽や下刈回数の削減、初期成長に優れた特定苗木の導入（令和6年度 23,500本、令和7年度 25,200本、令和8年度 10,000本）等、林業の低コスト化・省力化に向けた技術を積極的に導入します。



特定苗木 植栽後2年目の様子
川場村（利根沼田森林管理署）

※成長が早く下刈回数の削減が期待されるほか、少花粉であり花粉症対策の効果も期待される



遠隔操作式下刈機械の普及
（吾妻森林管理署）

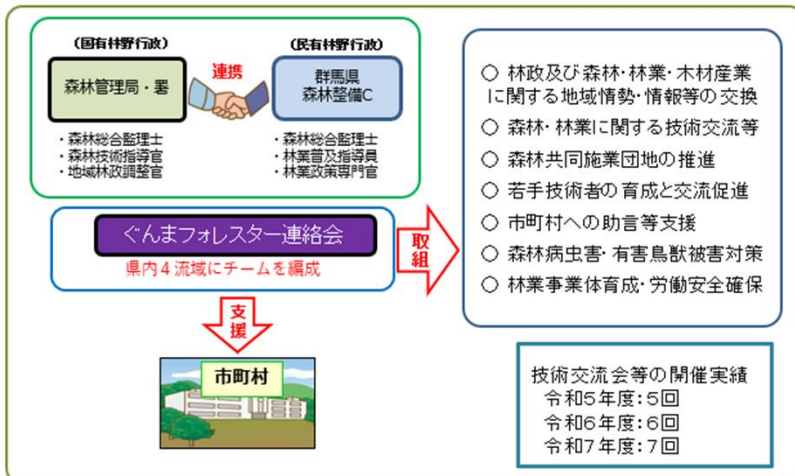
※東吾妻町の国有林において、林業事業者による地拵作業の実演会を開催。今後、機械導入を前提とした植栽も検討（列幅・本数など）

地域林業への貢献

○ぐんまフォレスター連絡会を通じた普及・啓発

(3森林管理署共通)

群馬県内の市町村への支援、若手技術者の育成などを目的として、国や県が連携して取り組む「群馬県フォレスター等民国連携推進協議会」（通称：ぐんまフォレスター連絡会、令和3年度から活動）において、ICTを活用した先進的な林業技術など、市町村からのニーズに応じた現地交流会等を開催しています。令和8年度においても、地域の森林・林業への貢献に向けて現地交流会等の開催を進めます。



技術交流会 R7.5.27 桐生市黒保根町赤面国有林
「デジタル林業のフル活用で林業イノベーション」

※最新鋭のICTハーベスタの実働から地域課題の解決策を考察

2. 木材の安定供給

○ 国有林材の計画的・安定的な供給

(3 森林管理署共通)

群馬県内の木材需要動向を踏まえ、国有林材の計画的な供給を図ります。地元の木材市場への販売委託等を通じて地域への安定供給に努めるとともに、国産材の需要拡大等に取り組む大口需要者に対しては、協定に基づく「国有林材の安定供給システム販売」を推進します。

また、利根沼田森林管理署では、中長期的な視点から計画供給を行うとともに、主伐後の確実な造林を協定に盛り込んだ「立木のシステム販売」(3,220㎡)を実施します。

(令和8年度 販売計画)

森林管理署	素材販売量 (㎡)	うちシステム販売 (㎡)
利根沼田署	31,065	21,585
吾妻署	26,396	15,900
群馬署	24,500	15,170
計	81,961	52,655

3. 森林生態系の保護・管理

病虫害対策

○ ナラ枯れ対策

(利根沼田森林管理署)

みなかみ町で急激に増加しているナラ枯れ被害への対策として、群馬県(林業試験場等)や町と連携し、これまでの取組で効果が確認された「おとり丸太法※」による対策を進めます。令和8年度においても、関係機関と連携のもと「おとり丸太法」による対策を進め、ナラ枯れ被害の拡大防止に努めます。

(被害本数 R5年度：526本、R6年度：6,965本、R7年度：6,602本)



おとり丸太法(みなかみ町)

※おとり丸太法：合成フェロモンを使用した丸太で誘引して、チップにしています

4. 国民参加の森林づくりの推進

公衆の保健のための活用

○ 地域と連携した自然休養林での植生保全活動

(吾妻森林管理署)

野反湖周辺の国有林は、自然景観が美しく、保健休養やレクリエーションの場として、広く国民の皆さんに利用していただくため、自然休養林に設定しています(「日本美しい森 お薦め国有林」にも選定されています。)。吾妻森林管理署では、地元の六合中学校や地域住民、関係機関から構成される野反自然休養林保護管理運営協議会と共同で、遊歩道整備及び湖畔周辺の植生保全活動を行っており、令和8年度においても継続して取り組みます。



野反自然休養林(中之条町)



六合中学校の生徒による植生保全活動

森林の整備・保全等への国民参加

○ 企業・団体等による森づくり

(3 森林管理署共通)

森林環境教育や森林づくり活動への要望に応え、「ふれあいの森」、「社会貢献の森」等の活動の場を提供し、NPO、企業、地元関係者等と連携して森林整備活動等に取り組んでいます。

令和7年6月、利根沼田森林管理署は、玉原高原(沼田市)の国有林を「多様な活動の森」のフィールドとして、多様な活動の森(森の博物館玉原)運営協議会と協定を締結しました。職員を自然観察会の講師に派遣するなど、協定者の森林保全活動を支援しています。

さらに当地は12月に、30by30目標の「自然共生サイト」にも認定されました。令和8年度においても、技術指導、講師派遣等により、企業・団体等の皆様の活動を支えて参ります。

(令和8年度：ふれあいの森6箇所、社会貢献の森7箇所、遊々の森4箇所、多様な活動の森2箇所)



中学校森林体験活動(高崎市)



多様な活動の森(森の博物館玉原)(沼田市)